

### 3 評価者養成講習等実績

都内に多数存在する事業所ができる限り多く第三者評価を受審できるよう、評価者養成講習を実施するとともに、現任の評価者にはフォローアップ研修を実施した。

#### ① 評価者養成講習実績数

(単位:人)

平成	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
名簿 登載者	213	629	400	167	177	208	198	166	165	131	119	117	76	87	88	85	97

令和	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	登載者 累計
名簿 登載者	107	128	126	98	135	147	3,864

#### ② フォローアップ研修実績数

(単位:人)

	修了者数
フォローアップ研修(共通コース)	1,407

	受講決定者数	修了者数
フォローアップ研修(専門コース)	637	598
評価者のためのベーシックスキルの習得	59	52
福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野(学童クラブ)～	306	291
福祉サービスの現状を学ぶ～障害分野～	111	107
利用者調査の手法を学ぶ～高齢分野～	13	13
利用者調査の手法を学ぶ～障害分野～	29	26
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～高齢分野～	16	12
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～	26	22
評価の視点の導き出し方を学ぶ<<高齢事例>>	24	24
福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～	23	22
福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～障害分野～	11	10
評価の視点の導き出し方の理解を深める<<児童事例>>	19	19

<参考> 評価者の要件内訳

(単位:人)

要件	要件該当 評価者延数
福祉・医療・保健業務を3年以上経験している者	1,142
組織運営管理等業務を3年以上経験している者	150
調査関係機関等で調査業務や経営相談を3年以上経験している者	177
福祉・医療・保健・経営分野の学識経験者で当該業務を3年以上経験している者	22
その他、上記と同等の能力を有していると機構が認める者	62

注1:令和7年3月31日現在の評価者名簿登載者の状況である。

注2:複数の要件に該当する評価者は、それぞれの要件でカウントしている。

### ③ 評価機関支援研修実績数

(単位:機関)

	受講決定 機関数	修了 機関数
評価機関支援研修【評価機関に求められるコンプライアンス】	59	55

### ④ 社会的養護関係施設評価者養成研修

(単位:人)

	受講決 定者数	修了者数
社会的養護関係施設評価者養成研修	41	39
社会的養護関係施設評価者継続研修	30	30

### ⑤ 保護・女性自立支援施設(旧婦人保護施設)に関する研修

実施なし

⑥研修カリキュラム  
I 評価者養成講習

eラーニング	集合1日目	集合2日目	集合3日目	集合4日目
<p>イントロダクション ○養成講習ガイド(15分) ・研修の流れ及び注意事項等</p> <p>(1)福祉サービスの基本的理解(60分) ○福祉サービスの変遷 ○第三者評価が必要になった経緯</p> <p>(2)第三者評価の概要(55分) ○第三者評価とは ・第三者評価制度の目的 ・東京都の第三者評価のしくみと特徴 ○評価手法の概要(事業評価・利用者調査) ・評価情報の公表 ・評価対象サービスについて ○評価の現状・評価者の役割 ・東京都の評価の現状 ・評価者名簿登録等</p> <p>(3)よりよい評価を目指して(30分) ○評価の考え方(導入)第三者評価の活用事例 ・評価を受審した事業所は、第三者評価をどのように活用しているか ・評価の視点を考えるうえで必要な「3つの問いかけ」 ○評価者に求められる姿勢(スタンス) ・基本姿勢 ・評価の際のポイント ・評価で陥りやすい点、やってはいけないこと ・報告書等との関連性 ○評価を行うために必要なマネジメントの知識(PDCAサイクルについて)</p> <p>(4)共通評価項目の理解(180分) ○評価項目の体系と構成 ・評価項目、標準項目について ○全カテゴリの解説 ・組織マネジメント項目 ・サービス項目 ・サブカテゴリの関連 ○評価をするうえでの各カテゴリにおけるポイント ●演習:カテゴリについて理解する</p> <p>・個人ミニワーク①(組織のビジョンを考える) ・個人ミニワーク②(事業所業務の標準化) ※動画視聴後に各自システム内でワークに取り組む</p>	<p>9:30 オリエンテーション 9:30~9:45(15分)</p> <p>(7)確認テスト 9:45~10:15(30分) ・テスト ・自己採点→1日目終了時に改修(集合2日目に返却)</p> <p>10:00 (8)eラーニング講義総括① 10:15~11:45(90分) ○演習説明【ワークシート1】 ●グループ内自己紹介 ●演習:太陽苑の印象①(演習①・②) ●グループ内意見交換 ●演習:太陽苑の印象②(演習③) ●グループ内意見交換</p> <p>10:30 ○事前分析【STEP6】(60分) ・標準項目の確認方法(非該当について含む) ・訪問調査時の確認項目の整理 ●演習:事前分析(ワーク解説)(25分) ワークシート2を使用した標準項目の事前分析欄の解説 ○訪問調査【STEP7】(20分) ●演習:訪問調査(ワーク解説)(30分) ワークシート2を使用した標準項目の訪問調査欄の解説 ○協議【STEP8】(25分) ・評価者に求められるコミュニケーションスキル ・多面的なものの見方 ※ワークシート1を使用 ○評価結果のまとめ～機構への報告【STEP9~11】(30分) 各ステップのプロセスやルールを中心に解説</p> <p>11:00 休憩11:45~12:45(60分)</p> <p>11:30 休憩11:45~12:45(60分)</p> <p>12:00 休憩11:45~12:45(60分)</p> <p>12:30 休憩11:45~12:45(60分)</p> <p>13:00 (9)評点付けの解説とカテゴリコメントの方針決定①(カテゴリ1) 12:45~14:20(95分) 12:45~13:15(30分) ○宿題【ワークシート2】の評点付け答え合わせ(※カテゴリ1のみ) 13:15~14:15(60分) ○演習説明【ワークシート3】 ※グループワークでは、カテゴリコメントで取り上げる内容3つを合議で決定し、評点付け(宿題で実施済み)及び講評を作成する ●演習:カテゴリコメントの方針決定(カテゴリ1)グループワーク 14:15~14:20(5分) ○宿題の説明 ワークシート3で決めた内容を基にワークシート5(カテゴリ1の評評)を作成する</p> <p>13:30 13:15~14:15(60分) ○演習説明【ワークシート3】 ※グループワークでは、カテゴリコメントで取り上げる内容3つを合議で決定し、評点付け(宿題で実施済み)及び講評を作成する ●演習:カテゴリコメントの方針決定(カテゴリ1)グループワーク</p> <p>14:00 14:15~14:20(5分) ○宿題の説明 ワークシート3で決めた内容を基にワークシート5(カテゴリ1の評評)を作成する</p>	<p>9:30 オリエンテーション 9:30~9:35(5分)</p> <p>(11)カテゴリコメントの共有・発表① 9:35~11:45(130分) 9:35~9:50(15分) ○1日目の振り返り(10分) ○演習の説明と役割分担【ワークシート5】(5分) 9:50~10:10(20分) ●グループ内講評共有 10:10~10:40(30分) ●発表(1G3分×8=9G=30分) ●グループで評価結果として提出するコメントを理由とあわせて発表 10:40~11:10(30分) ○解説(1G3分×8=9G=30分) 11:10~11:45(35分) ○標準項目評点付けの解説及び宿題【ワークシート2】の評点付け答え合わせ(※カテゴリ5,6-3)</p> <p>(12)カテゴリコメントの方針決定② 12:45~14:25(100分) 12:45~14:20(95分) ○演習説明【ワークシート6】 ※これから行うグループワークでカテゴリコメントで取り上げる内容3つを合議で決定し、評点付け及び講評を作成する ●演習:カテゴリコメントの方針決定(カテゴリ5,6-3)グループワーク 14:20~14:25(5分) ○宿題の説明 ワークシート6で決めた内容を基にワークシート8(カテゴリ5及び6-3の評評)を作成する</p> <p>14:30 14:30~14:45(15分) ○演習説明【ワークシート9】 ●演習:ワークシート1を基にグループで合議し、全体講評の方向性を決める</p> <p>14:45~15:40(55分) ○演習説明【ワークシート7】 ●演習:カテゴリ7のまとめの記入(個人ワーク) 15:15~15:40(30分) ○解説 15:45~16:25(45分) ●演習:個人ワークと解説を踏まえて、内容を共有(グループワーク)(30分) ○1日目のまとめと宿題の確認(15分)</p> <p>16:00 16:15~16:25(10分) 2日目の振り返りと宿題の確認</p> <p>16:30 事務連絡(5分)</p>	<p>9:30 オリエンテーション 9:30~9:35(5分)</p> <p>(14)カテゴリコメントの共有・発表② 9:35~11:45(130分) 9:35~9:50(15分) ○2日目の振り返り(10分) ○演習の説明と役割分担【ワークシート5】(5分) 9:50~10:25(35分) ●グループ内講評共有 10:25~10:55(30分) ●発表(1G3分×8=9G=30分) ●グループで評価結果として提出するコメントを理由とあわせて発表 10:55~11:25(30分) ○解説(1G3分×8=9G=30分) 11:25~11:45(20分) ○評価の視点復習</p> <p>(15)全体の評価講評の作成① 12:45~14:05(80分) 12:45~13:25(40分) ○全体の評価講評を解説 ○特に力を入れた取り組み、カテゴリコメント、カテゴリ7の講評との違いについて(復習) 13:25~14:05(40分) ○サービス内容の解説 太陽苑の取り組み内容を解説し、全体講評の作成にあたっての留意点を講義</p> <p>14:30~14:45(15分) 休憩(事務局付箋コピー各グループに配布)</p> <p>14:45~14:55(10分) ●グループごとに振り返り</p> <p>(18)養成講習のまとめ 14:55~15:15(20分) ○第三者評価制度の振り返り</p> <p>休憩(30分)</p> <p>(19)修了試験 15:45~16:20(35分) 15:45~15:50 試験説明(5分) 15:50~16:20 試験(30分)</p> <p>16:00~16:15(15分) ○カテゴリ関係図の振り返りと宿題説明 16:15~16:25(10分) 3日目の振り返りと宿題の確認</p> <p>16:30 事務連絡(5分)</p>	<p>9:30 オリエンテーション 9:30~9:35(5分)</p> <p>(16)全体の評価講評の作成② 9:35~11:45(130分) 9:35~9:50(15分) ○3日目の振り返り(5分) ○演習の説明と役割分担【ワークシート10-2】(10分) 9:50~11:45(115分) ●グループワークで全体講評(ワークシート10-2)の作成 ⇒事務局へ提出 ※途中各グループごとに休憩</p> <p>(17)全体の評価講評の発表 12:45~14:55(130分) 12:45~14:30(105分) ●発表 ・カテゴリコメントを踏まえて、全体講評の作成時に検討した過程を発表 ○講師コメント ●付箋の記入 ※適宜休憩をはさむ</p> <p>14:30~14:45(15分) 休憩(事務局付箋コピー各グループに配布)</p> <p>14:45~14:55(10分) ●グループごとに振り返り</p> <p>(18)養成講習のまとめ 14:55~15:15(20分) ○第三者評価制度の振り返り</p> <p>休憩(30分)</p> <p>(19)修了試験 15:45~16:20(35分) 15:45~15:50 試験説明(5分) 15:50~16:20 試験(30分)</p> <p>16:30 事務連絡(5分)</p>
ワークシート1、2	宿題 ワークシート5の作成(カテゴリ1)	ワークシート8の作成(カテゴリ5,6-3)	ワークシート10-1の作成(全体講評)	

## Ⅱ フォローアップ研修

### ○評価者フォローアップ研修（共通コース）

- ・実施日：令和6年4月1日～4月30日
- ・対象者：(1) 全評価者（令和6年4月1日付で評価者名簿から抹消となった場合を除く。）  
(2) 評価機関の事務局で第三者評価を担当する責任者等
- ・実施方法：eラーニング

### ○評価者フォローアップ研修（専門コース）

#### ～基本編～

#### 【評価者のためのベーシックスキルの習得～「論理的思考と伝達方法」の基礎を学ぶ～】

- ・実施日：令和6年5月21日、5月22日
- ・対象者：受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：ヒューマンウェア・コンサルティング株式会社 横滝 公市 氏

#### 【福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野（学童クラブ）～】

- ・実施日：令和6年5月24日～6月28日
- ・対象者：受講を希望する評価者
- ・実施方法：eラーニング
- ・講師：川口短期大学 こども学科 准教授 佐藤 晃子 氏  
西東京市 子育て支援部 児童青少年課 課長 河野 源 氏  
東京都学童保育連絡協議会 副会長 文京区立柳町地区児童館 館長 高橋 誠 氏  
特定非営利活動法人町田市学童保育クラブの会 大蔵学童保育クラブ 施設責任者 小野 さとみ氏  
一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 氏

#### 【福祉サービスの現状を学ぶ～障害分野～】

- ・実施日：令和6年11月1日～12月2日
- ・対象者：受講を希望する評価者
- ・実施方法：eラーニング
- ・講師：立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 飯村 史恵 氏  
NPO法人 東京都自閉症協会 副理事長 尾崎 ミオ 氏  
社会福祉法人みずき福祉会 理事長 阿部 美樹雄氏  
社会福祉法人あけぼの福祉会 常務理事 府中共同作業所 施設長 安川 雄二 氏  
社会福祉法人武蔵野会 リアン文京 総合施設長 山内 哲也 氏  
株式会社ステディーリンク代表取締役 グループホーム・リックス 管理者 石黒 武 氏

### 【利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～】

- ・実施日：令和6年7月2日、7月3日
- ・対象者：受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 教授  
社会福祉法人正吉福祉会 理事  
一般社団法人 Riccolab. 代表理事

下垣 光 氏  
齊藤 貴也 氏  
渡辺 真紀 氏

### 【利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～】

- ・実施日：令和6年5月8日、5月9日
- ・対象者：受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：立教大学 コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授  
社会福祉法人みずき福祉会 理事長  
株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長  
やまだこどもクリニック 言語聴覚士

飯村 史恵 氏  
阿部 美樹雄氏  
浅野 睦 氏  
高泉 喜昭 氏

### ～実践編Ⅰ～

#### 【福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～高齢分野～】

- ・実施日：令和6年11月28日、11月29日
- ・対象者：(1) 評価者養成講習修了から現在までの高齢分野での評価実績が  
0件から10件程度の評価者  
(2) その他受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：株式会社ウエルビー 代表取締役  
株式会社ウエルビー

青木 正人 氏  
亀井 恵美子氏

#### 【福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～】

- ・実施日：令和6年10月30日、10月31日
- ・対象者：(1) 評価者養成講習修了から現在までの障害分野での評価実績が  
0件から10件程度の評価者  
(2) その他受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：埼玉県立大学 名誉教授  
一般社団法人 Riccolab. 代表理事  
一般社団法人 Riccolab.

朝日 雅也 氏  
渡辺 真紀 氏  
大坂 太一 氏

### 【評価の視点の導き出し方を学ぶ《高齢事例》】

- ・実施日：令和6年6月4日、6月5日
- ・対象者：（1）評価者養成講習修了から現在までの高齢分野での評価実績が  
0件から10件程度の評価者  
（2）その他受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏  
株式会社ウエルビー 代表取締役 青木 正人 氏

### ～実践編Ⅱ～

#### 【福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～】

- ・実施日：令和6年7月11日、7月12日
- ・対象者：（1）評価者養成講習修了から現在までの高齢分野での評価実績が  
11件以上の評価者  
（2）その他評価機関が推薦する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：株式会社ウエルビー 代表取締役 青木 正人 氏  
株式会社ウエルビー 亀井 恵美子氏

#### 【福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～障害分野～】

- ・実施日：令和6年6月12日、6月13日
- ・対象者：（1）評価者養成講習修了から現在までの障害分野での評価実績が  
11件以上の評価者  
（2）その他評価機関が推薦する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：一般社団法人 Riccolab. 代表理事 渡辺 真紀 氏  
一般社団法人 Riccolab. 箕輪 亜紀 氏

#### 【評価の視点の導き出し方の理解を深める《児童事例》】 NEW!

- ・実施日：令和6年11月7日、11月8日
- ・対象者：（1）評価者養成講習の修了から現在までの児童分野での評価実績が  
11件以上の評価者  
（2）その他評価機関が推薦する評価者
- ・実施方法：講義及び演習 2日間
- ・講師：株式会社フォーサイトコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏  
有限会社アーチ・ラボラトリーズ 取締役 吉田 紅愛 氏

### Ⅲ 評価機関支援研修

#### ○評価機関支援研修【評価機関に求められるコンプライアンス】

- ・実施日：令和6年9月9日～10月11日
- ・対象者：評価機関代表者、評価者育成責任者、評価手法管理責任者又は事務局職員等
- ・実施方法：eラーニング
- ・講師：多久島岩崎法律事務所 弁護士 岩崎 雄大 氏  
株式会社ミライバ 取締役 江畑 直樹 氏

### Ⅳ 社会的養護関係施設評価者研修

#### 【社会的養護関係施設評価者養成研修】

- ・実施日：令和6年5月16日
- ・対象者：(1) 令和6年度東京都社会的養護関係施設第三者評価機関としての  
認証申請を予定している評価機関に主たるとして所属する評価者  
(2) その他受講を希望する評価者
- ・実施方法：講義 1日
- ・講師：日本女子大学 家政学部 児童学科 教授 和田上 貴昭氏  
一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 氏  
社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 事務局長 高橋 誠一郎氏

#### 【社会的養護関係施設評価者継続研修】

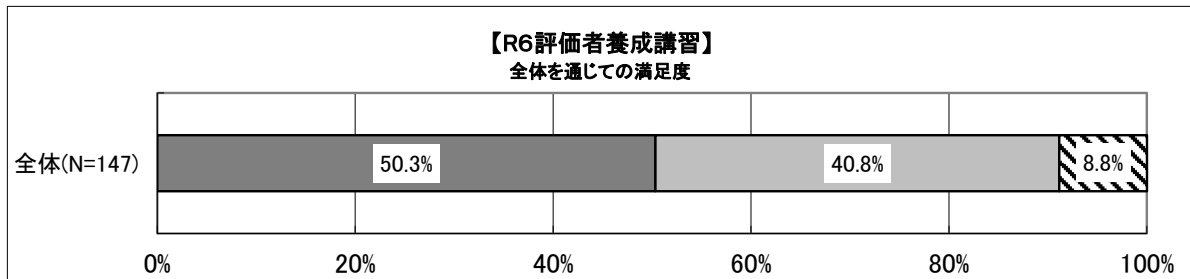
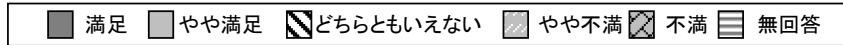
- ・実施日：令和6年5月23日
- ・対象者：(1) 令和6年4月1日現在、社会的養護関係施設評価者であること  
(2) 令和4年度・令和5年度の2年間に、東京都における社会的養護  
関係施設の評価実績が1件以上ある評価者
- ・実施方法：講義 1日
- ・講師：社会福祉法人二葉保育園 二葉乳児院 院長 都留 和光 氏  
社会福祉法人至誠学舎立川 児童事業本部 事務局長 高橋 誠一郎氏  
社会福祉法人ベタニヤホーム 母子生活支援施設ベタニヤホーム 施設長 伊丹 桂 氏  
一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 理事 岡田 賢宏 氏

### V 保護・女性自立支援施設（旧婦人保護施設）に関する研修

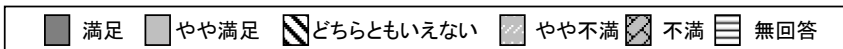
実施なし

## ⑦ 研修受講生アンケート

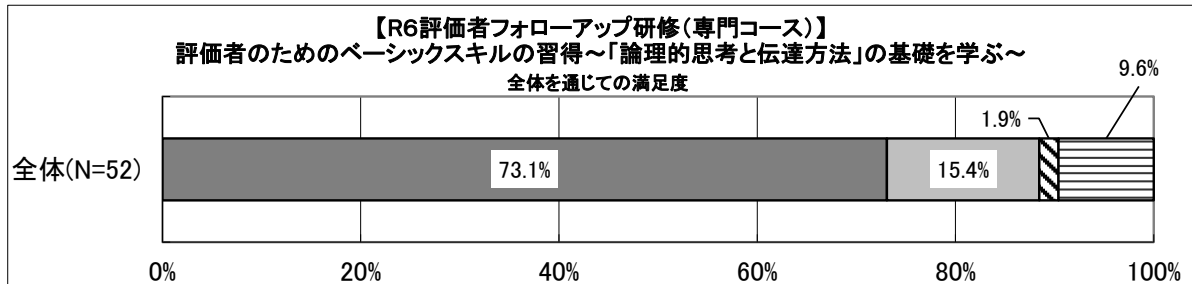
### I 評価者養成講習



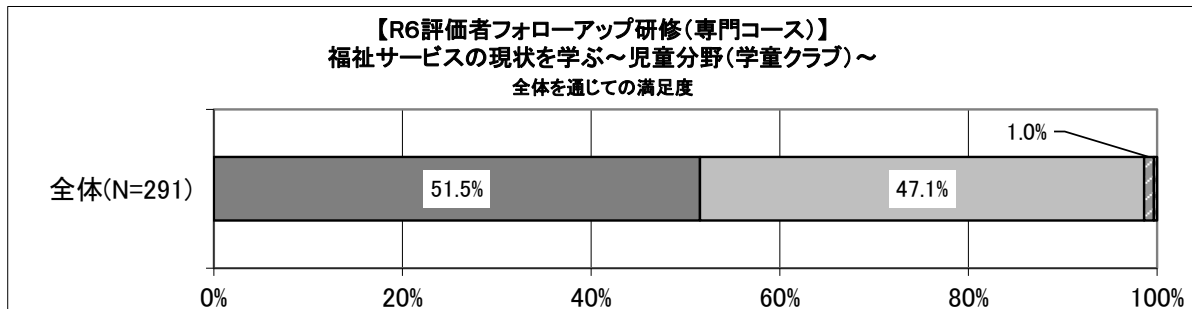
### II 評価者フォローアップ研修(専門コース)



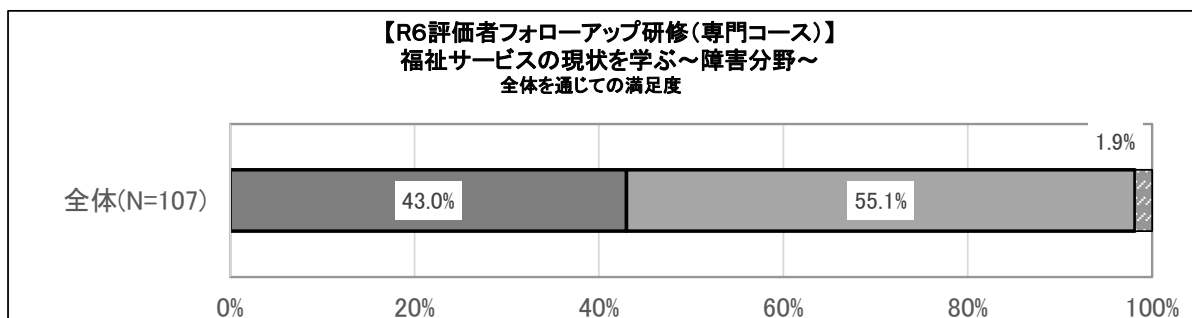
#### 評価者のためのベーシックスキルの習得～「論理的思考と伝達方法」の基礎を学ぶ～



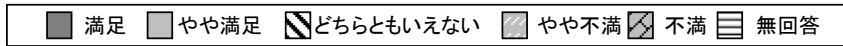
#### 福祉サービスの現状を学ぶ～児童分野(学童クラブ)～



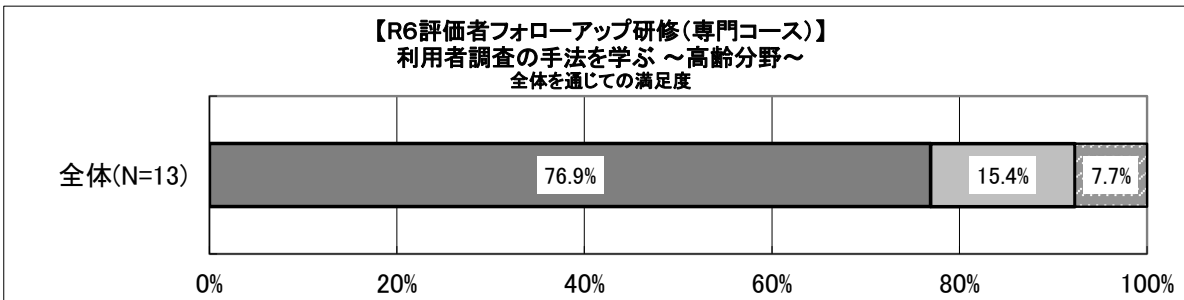
#### 福祉サービスの現状を学ぶ～障害分野～



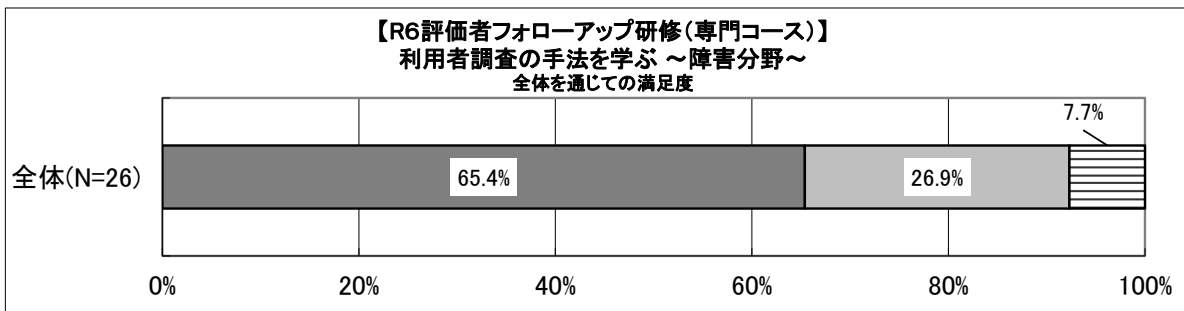




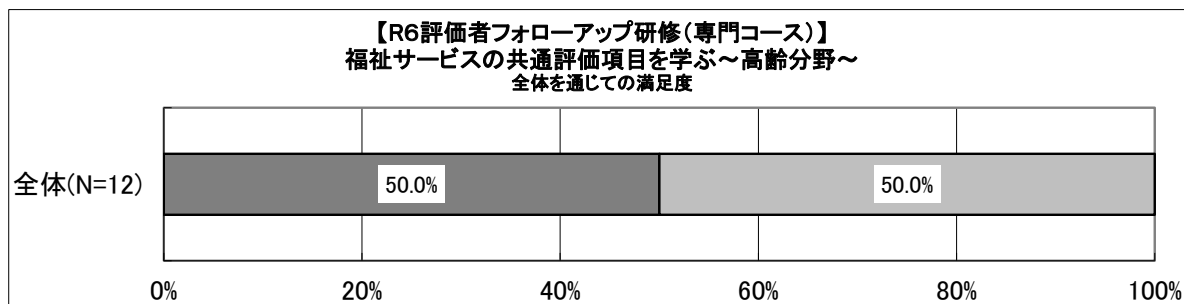
利用者調査の手法を学ぶ ～高齢分野～



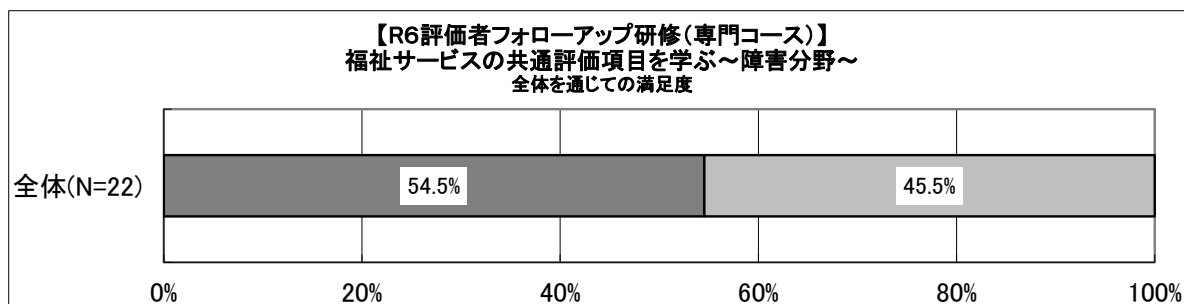
利用者調査の手法を学ぶ ～障害分野～



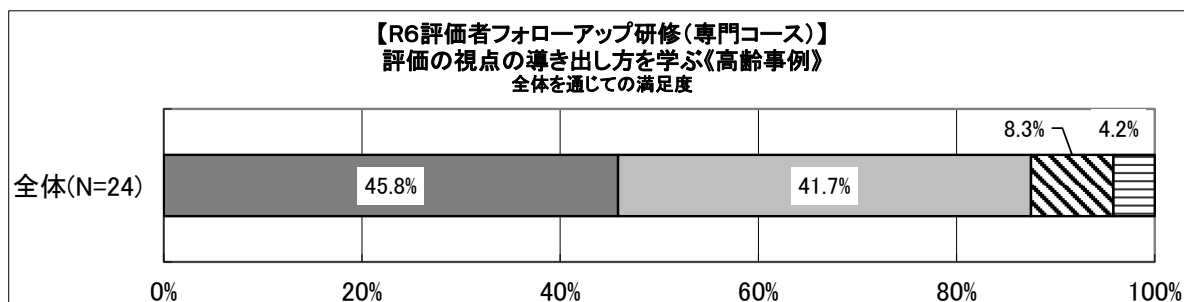
福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～高齢分野～

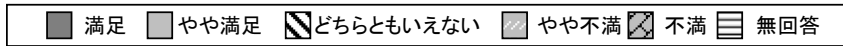


福祉サービスの共通評価項目を学ぶ～障害分野～

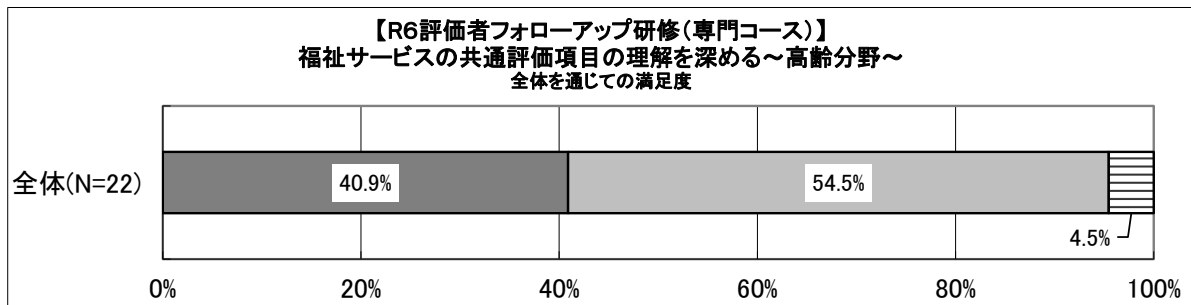


評価の視点の導き出し方を学ぶ《高齢事例》

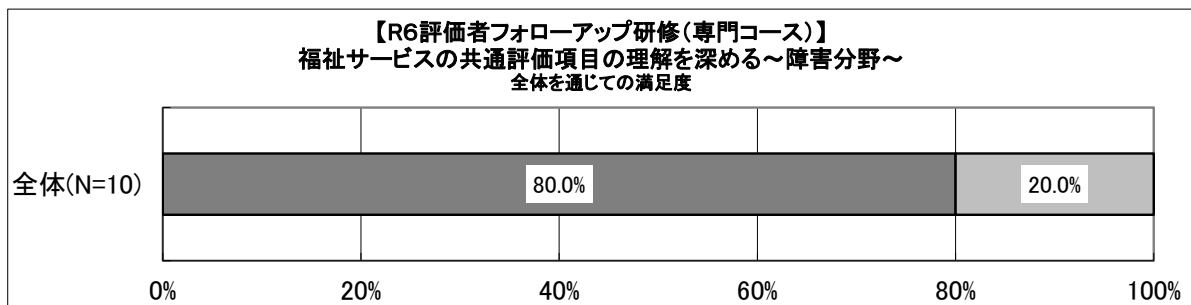




### 福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～高齢分野～



### 福祉サービスの共通評価項目の理解を深める～障害分野～



### 評価の視点の導き出し方の理解を深める《児童事例》

